

パワフルHIVポジティブ パトリックの カミングアウト大作戦

1

カミングアウト1号



パトリック・
ボンマリート

HIVに感染した体を
忘れないためビアスした

パディビアスをしている。
パトリックは13個、間宮氏は20個以上の
ボディビアスをしている。

パトリック(以下)「子供の頃は、ビアス
してたら『ゲーッ、気持ち悪い!』
って感じだったのね。ニューヨークのゲイ!
ディスコでも、ビアスしてるのは汚いオヤ
ジばかりだった……。でも、ある日、
長身で筋肉ムキムキのすっぴんきれいな自
人の男が鼻の間にでっかいビアスしてるので

「自分は『これがいい』と伝えるのがカミングアウトだ

HIVを持って5年のDJパトリック・ボンマリート。神出鬼没の彼がついにSPA! 舞場。いろんなテーマを取り上げながら「バト教」を布教していく。

カミングアウトとは
直訳は「公言する」という意味。
自ら同性愛者だと公言する。
という意味で使われる場合が多い。
HIVに感染していると世間には公言するとときも便り。パト
リックはこの結果をもと普通
的にとらえる。「ムキムキの日
体大系の男が実は便は弱み物を
するのか好き」と友達告げる
連載は「カミングアウトの多様
性」を追求するものである。



ピアス禁止なんて日本の法律は毛深いぞ

で、松山まで来たのだ。やってきてみたら、びっくりした。ここにある「いろんな温泉旅館」で開かれる学会に、そういうお医者さん関係の人が、6000人もわざわざ集まっていたのだ。そういう芝生の上で遊はつて企画です。照明も、上等なお酒もないけど、すんごく気持ちいい。でもこのパーティは突然やるので、聞き立てるといふと、わかりません。バトちゃんのパーティに来て、聞き耳を立てるよつに。詳しい情報は欄外を見よ。

7月9日
松山の道後温泉に来た。お医者さんのAIDSの学会があつて薬の会社が僕を呼んでトークリブを開くというわけ。

7月14日
ある女子校の女のコたちが、文化祭に

僕を呼んでAIDS/HIVについてのトークリブをする企画を立てた。これつて結構イヤじゃないって思っていたんだけど、先生たちが却下したそうだ。パトリックさんを学校に呼んだとする。もしかして、先生にやつてしまがリラックスできる。治りもきれいだしよ?」

「ピアスする人とされる人間には特別な関係が生まれるんですよ……。でも、アメリカには専門のピアス師がいるけど、日本では医者以外がピアスや刺青をやるのは法律で禁止されてるんですよ」

「それって、なんでの?」

「昔GHQが、やつちやダメだという法律をなくしたんだけど、やつていいという法律もない」

「毛深い話だな」

「何?」

「毛みたいに話が入り組んでてわからんないってこと」



パトリック
DJ情報
8・7(日) GOLD G
AYNIGHT PARTY
毎週土曜日はDRAGON
(☎03-5269-1879)
DJしてます

構成・文/Q太郎 撮影/高橋清人 協力/PARADOX ☎03-3770-2026

見て、ウワーカッコイイ!って思つて、それから自分も始めたの」

間宮(以下)「まあ、最初は難しいこと
を考えてピアスするわけじゃないから。で
もやり始める、自分がだんだん変わつて
くる」

パ「そうそう。自分の体に敏感になつてく
るの……。僕はHIVに感染してから、自
分の体のことにつこく敏感になつたのよ。

ピアスをしたのはHIVに感染した自分
の体を忘れないため(刻印)つていう意味
もあつたの」

マ「僕の知り合いには、『自分への褒美だ』
つていう人や『自分を見つめ直すため』つて
いう人もいる。ピアスする行為だけで満足
だつていう人もいる。みんな、自分を取り
戻すつていうが、そういう境地に行き着く
みたい。だから精神的にも強くなるよね」

パ「それはさあ、だんだん自分の体や心の
状態がわかってきて、『自分はこれがいいん
だ』つていう段階まで行くからだと思うよ」

僕の場合は、去年の3月に日本でHIV
を持つつてカミングアウトした。その後、
ニューメキシコに行つたんだけど、向
こうで自分の人生に何があるんだろう、何
ができるんだろうつて悩んじやつたの。す
ぐ彼氏も見つからなかつたし(笑い)……。
最初は、HIVの問題があるから他人と
の壁を越えられないんだつて思つた。で
も、それは相手も越えようつて思つた。で
しょ? だつたら、まず自分がピアスをす
ることで、他人にショックを与えて、それ
でも普通に付き合えたら、次はHIVの壁
も乗り越えられるんじやないかと思つたの。
今なんか、『そのピアスいいね』つてよく話
しかけられるよ。それからだんだんカミン
グアウトの話をして、理解してもらえる人

だつたらHIVの話をする」

マ「ピアスの感覚は自分でやつてみないと
わからないから、ぜひみんなに味わつてほ
しいと思いますよね」

パ「僕は絶対に自分ではピアスできないよ。
人にやつてしまがリラックスでき
る。治りもきれいだしよ?」

マ「ピアスする人とされる人間には特別
な関係が生まれるんですよ……。でも、ア
メリカには専門のピアス師がいるけど、日
本では医者以外がピアスや刺青をやるのは
法律で禁止されてるんですよ」

パ「それって、なんでの?」

「昔GHQが、やつちやダメだという法
律を行つてしまがリラックスでき
る。治りもきれいだしよ?」

「毛みたいに話が入り組んでてわからん
ないってこと」

パワフルHIVポジティブ パトリックの カミングアウト大作戦

2

カミングアウト2号



中島由香さん

中島由香さんは昭和35年9月6日生まれ。兵庫県出身。某真言密教修行道場にて修行中。子供のころから、「人間は何で生きているのか」と考え続け、その答えをずっと求めてきたという。パトリックとは'86年に東京で出会った。その後、'87年に再会、その頃の彼女はNYでおぎり屋で生計を立てつつクラブで踊りあす日々。パトリックは「当時の彼女は見ていて最低のひどい生活。人相も違ったし、印象がもっと暗かった」と言う。'88年帰国。在家僧となつて生きる決心をし、今日に至る。

在家僧になることで自分が生きる意味を探す

HIVを持って5年のロッパトリック・ボンマリー。今回はボロボロのNY生活を断ち切り在家僧として生きる方法を見つけた中島由香さんに会つた。



大事なことは自分の中の神に近づいていくこと

この日、由香さんとパトリックは6年ぶりに再会した。

パトリック「NY時代の由香ちゃんは、毎晩クラブに行ってキメまくつて、ボロボロの超ひどい生活だったよね」

由香「私は昔から、『人間は何で生きてるんだろう』とか、『自分は何なんだろう』ってことで転げ回るぐらいたのね。でも、答えがわからないまま大人になって、正し

いことをする人をあざ笑うような社会を見て、『世の中に正しいことなんかないんじゃないか』って思つちやつたの。それでNYでムチャクチャしてたんだ」

パ「そうやって一回ボロボロになつて、最後に立ち上がり立派に立ち上がつたんだ」

由「最初は虚しくてすつとお祈りしてた。日本に帰つていろいろな霊能者に会つたし……で、ある日、私のお師匠様が書いた本を読んだの。そしたら、自分が20年以上も悩んでいたことの答えが全てそこに書いてあつたのよ。感動して涙が止まらなかつた」

パ「僕の場合は、HIVがそういう転機だつたの。自分が一回ゼロの状態まで戻つて、これ以上汚くなれないってここまで行くと、もう逆になつて、立ち上がって生きるしかなくなつてくるんだよ」

由「パトは因縁因果つてわかる?」

バ「ああ。わかるよ。僕は信じてるもん」

由「人間が辛い目にあうのは、過去世で犯した罪が返つてくるからなの。だから辛い目にあつたら、『罪をお許しください。代わりにいいことをします』と神様にお詫びして祈るのよ。それが幸せになる方法で……」

バ「でも他の宗教も言つてるでしょ?」

由「それだけではないの。その本には『人間が何か』ってことも書いてあつた。人間はみんな、自分の中に神がいるのよ。もともと神だつたのに輪廻する度に欲とか悪い念が魂の周りにいっぱいこびりついて自分

が神だつてことを忘れちやつてるのね。そしてどうすれば魂をキレイにすることができるかが書いてあつたの」

バ「僕は昔は、違うところに誰か(神が)いるのかもしれないと思ってたのね。だけ

ど今は、自分の中に神がいる話や輪廻の話はすこくよくわかる」

由「お坊さんの中には、そういうことを頭や知識だけでわかつてゐる人も多いと思うんですよ。そういう人は説得力がないのよ」

バ「そうそう。DJも同じで、ただのオタクDJと、自分の頭も心もすべて伝えようとするアーティストのDJがいるもの。アーティストのレベルまで行けば、心だけじゃなくソウルも出せるようになる」

由「それはちょっと違うと思うなあ……」

バ「んー……どっちでもいいとも思うんだけどね。大事なのは、一回ゼロに戻つて、自分の一つの方法を決めて、その一つしかない方法でやつてくことなの。そうやってバイブレーションを上げて自分の中の神様に近づいていくと、もう、辛いこととか悲しいことなんかなつてくるの」

帰り際、彼女と別れたパトリックが雨の中で一人でブツブツ呟いていた。

「僕と由香ちゃんは最後には神様になるの。神様になつて天国に行くの」

人間は神様に戻るために生きていけるの

7月20日

僕の頭の裏には、ディスコ・ベビーがいる(タイトル下写真を見よ)。彼は僕のDJパートナーのシンボルマークだ。インビテーションなどにマークとして印刷してあるんだけど、それなら刺青いれようかって考えた。でも刺青だと洋服着ると隠れてしまう。いろいろ考えた結果、一番立つて、バランスがいいところは僕の頭の裏つてことになり、友達のヘアメイクにカットしてもらつたわけ。これ描いているのではなく、小さいカミソリで細かく剃つてもらつてあるのだ。美しいテクニクなのだ、実は、ちなみにベビー。という理由は、みんなベビーの頃の感覚を呼び起してしまふ、ナチ

ユラルな気持ちで楽しめしましよう。ってこと。笑う人が多いけど奥は深いでしょ。

7月23日

この暑さにはマイツ、ほんと。この1週間、朝食にアイスクリームを食べまくる日々だったんだけど、ついにお腹がジエットパワー・ゲリゲリ状態になつてしまつた。で、暑さ対策にクーラーをガンガンつけて、毛布イモムシ化して一日を過ごした。僕のお腹はもどもとデリケートで、よくゲリゲリになる。しかも、いつも突然なつてしまふのだ。HIVを持つてから、特にその傾向が強くなつたように思う。ま、そのおかげで東京トイレマップを作れるくらいトイレには詳しいのだ。

温泉に行く力はないのだ

7月26日

僕はお風呂が好きだ。温泉、プール、サウナ、要するに裸になれるところは全部好き。今日はウチでバブル風呂を作つた。液体ソープを大量にバスタブに入れれば、2分で、まあ私はハリウッド女優の気分。ついでにお風呂掃除もするのでおやじババアと呼ばれる僕なのだ。

「僕と由香ちゃんは最後には神様になるの。神様になつて天国に行くの」

バトリックDJ情報
8・17(水)MANIAC LOVE(☎03-8406-1168)
にてDISCO BABY毎週土曜日はDRAGON(☎03-5269-1379)でDJ
構成・文/Q太郎 撮影/高橋清人

パワフルHIVポジティブ パトリックの カミングアウト大作戦

3

カミングアウト3号



ゲイ・サウナ。ゲイ専門のサウナで日本全国にある。基本的構造は一般的なサウナと全く同じだが、他と区別するために入り口に「会員制」と明示してある場合が多い。これはノンケの人(異性愛者)が入ってこないための工夫でもある。さて、今回はこの「ゲイ・サウナ」をカミングアウトさせたい。「今のがイサウナの問題をはっきりさせたい。相手はすぐにはカミングアウトしないかもしれないけど、挑戦したい。自分たちがやっている行為の意味を考えて公言するのもカミングアウト。僕はその点を指摘したい」とパトリックは語る。

外国人ゲイはエイズと思われて入場拒否

連載3回目を迎えたある打ち合せの日。

パトリック 「パトちゃん、ゲイ・サウナに行つてみたいんだけど」

パ 「ゲイの集まるサウナで、友達を作るハッテンバ(発展場)になつての。ミック

ス・ルームっていう部屋があつて、そこでセックスする人もいる。まあ、ゲイがゲイ・

バーに集まるのと同じで、同じ趣味の人があ

ゲイ・サウナはHIVへの意識が間違つていてる?

HIVを持って5年、ゲイでガイジンの口にパトリック・ボンマリート。この特權的立場からゲイ・サウナにおける問題を発見、原因の追究を試みる。



カミングアウトとは

直訳すれば「公言すること」。一般的にカミングアウトするというと「ゲイであることを世間に公言する」という意味で使われる。最近ではHIVに感染していると公言するときにも使われている。パトリックはさらにこの単語の意味を拡大して使う。「自分の頭で考え、自分はこれがいいと公言する」。この連載はカミングアウトの多様性を追求していくものである。

パトちゃん日記

7月30日

毎週土曜日は新宿のDRAGONでDJしている。ここは友人が経営しているDJ BARで、カウンターにDJブースがあり、飲みながらしゃべりながらダンスしながらレコードをガンガンかけている。今日DJやってて発見したんだけど、メロンウォーター、メロンっていうスイカのお酒があるのだ。僕はスイカ大好きだから感激したよ。しかもボトルキープできるなんて変な感覚だと思わない?

8月1日

僕は料理をするのが大好きだ。しかも、とても上手と友達の間では好評である。今日はお料理はステーキとマッシュポテト。本当、家で作って食べる食事が一番

おいしい。外食つて大嫌い。「今、何が食べたい?」って自分の体に聞いて食べたばかり体にいい。当たり前のことだけど、忘れている人って多いと思う。自分の体はちゃんとバランスのことを感じていて、「今はこれが食べたい」って絶対に言つてる。そう思う。外食してる人を見るたび「みんな体の声聞いているのかなあ」って心配になつてくる。

8月4日

足りず(タイトルの下参照)、ディスコへ足りず(タイトルの下参照)、ディスコへ手で何かを作り出すつて楽しくて「ワクワクするけど、生まれて初めて“刺繍”と



パトリックDJ情報

8月27日ダイナマイト博多(092-712-6032)。毎週土曜日はDRAGON(03-5269-1378)でDJします

(以下次号の予定)

店が個人のセックスに責任を持つなんて毛深い

いつもに取り組んだ僕は今後悔している。なぜなら「刺繍」は時間がかかるので。すく。僕の「結果を急ぐ性格」と「物事には何度も100%の完璧さを求める性格」がみごとにぶつかった。時間の許す限り刺繡して疲れ果てるので、毎日熟睡している。友達はみんな「刺繡してるとうるさくなくていいね」だって。頭の裏に刺り込みを入れただけでは物足りず(タイトルの下参照)、ディスコへ足りず(タイトルの下参照)、ディスコへ手で何かを作り出すつて楽しくて「ワクワクするけど、生まれて初めて“刺繍”と

なったのは、「外国人のゲイはエイズ」という強いイメージがあるからだと思うんだ。Q 「そういう意識は日本人一般にあつたと思うよ。だから客が離れないよう立ち入り禁止にしてるんじゃないの?」パ 「そこが毛深い話なわけ。エイズへの意識が間違ってるもの。店は個人のセックスにまで責任を持つ必要がないし、そういう形でエイズを排除することよりも、個人の責任でそれを排除することのほうが大事なわけでしょう? お店がセーフ・セックスのためにコンドームを配るとか、そういう方向にいつまでたつても変わらないんじやないかと思うんだ。それで責任の持てない人のほうを「会員制」の名目で排除していくべき。店には好き嫌いがあつて当然だけど、今の日本のゲイ・サウナは、やり方が逆なんだよ」大阪と新宿に「外国人OKのサウナがある」という情報を聞きつけた我々は、現状を探りに出掛けてみることにした。

S 「パトリックも友達を作りにミックスルームに行きたいの?」パ 「そうじゃないよ! HIVが話題になれたんだけど、'86年の中頃からはほとんどが『ガイジンお断り』になつてたんだ。僕の外国人の友達はみんな断られたって。これって、結構毛深い話だと思つんだ。ほんとうに入れないのかどうかを確かめようと、新宿の某有名ゲイ・サウナにパトリック初の突撃取材をすることにした。パトリックによれば、以前は外国人OKだった店の入り口には、「会員制」と表示が出ていた。最初に私Q太郎が入り、恋人を装つてパトリックが後に続くことにする。パ 「ち、ちょっと待つ。煙草吸うから」ビビるパトリック。あと15秒で「楽しい」店なのに悲痛な顔をしている。さて。Q太郎は会員でもないのにすんなり浴衣とタオルを渡されたが、パトリックの顔を見るなり店員の待つたがかつた。店員「うちちはガイジンお断りだから」パ 「なんで? 会員じゃないから?」店員「なんでつて……そういう決まりになつてるからねえ」何を聞いても「ガイジンはダメだからダメ」という理由しか聞けなかつた。Q 「で、パトはなんでそんなにこだわるわけ? 外国人のゲイが嫌いな店があつても、それは商売なんだからいいじゃない」パ 「アメリカでもどこのゲイ・サウナも会員制で書いてあって、それは嫌な客を断り禁止にしてるんじゃないの?」Q 「そこが毛深い話なわけ。エイズへの意識が間違ってるもの。店は個人のセックスにまで責任を持つ必要がないし、そういう形でエイズを排除することよりも、個人の責任でそれを排除することのほうが大事なわけでしょう? お店がセーフ・セックスのためにコンドームを配るとか、そういう方向にいつまでたつても変わらないんじやないかと思うんだ。それで責任の持てない人のほうを「会員制」の名目で排除していくべき。店には好き嫌いがあつて当然だけど、今の日本のゲイ・サウナは、やり方が逆なんだよ」

集まつてからリラックスできるわけ

S 「パトリックも友達を作りにミックスルームに行きたいの?」

る前は、どここのゲイ・サウナにも外国人が入れただけど、'86年の中頃からはほとん

どが『ガイジンお断り』になつてたんだ。

僕の外国人の友達はみんな断られたって。これって、結構毛深い話だと思つんだ。

ほんとうに入れないのかどうかを確かめようと、新宿の某有名ゲイ・サウナにパト

リック初の突撃取材をすることにした。

パトリックによれば、以前は外国人OKだった店の入り口には、「会員制」と表示が出ていた。最初に私Q太郎が入り、恋人を装つてパトリックが後に続くことにする。

パ 「ち、ちょっと待つ。煙草吸うから」ビビるパトリック。あと15秒で「楽しい」

店なのに悲痛な顔をしている。

さて。Q太郎は会員でもないのにすんな

り浴衣とタオルを渡されたが、パトリック

の顔を見るなり店員の待つたがかつた。

店員「うちちはガイジンお断りだから」

パ 「なんで? 会員じゃないから?」

店員「なんでつて……そういう決まりになつてるからねえ」

何を聞いても「ガイジンはダメだからダメ」という理由しか聞けなかつた。

Q 「で、パトはなんでそんなにこだわるわけ? 外国人のゲイが嫌いな店があつても、それは商売なんだからいいじゃない

パ 「アメリカでもどこのゲイ・サウナも会員制で書いてあって、それは嫌な客を断り禁止にしてるんじゃないの?」

Q 「そこが毛深い話なわけ。エイズへの意

識が間違ってるもの。店は個人のセックスにまで責任を持つ必要がないし、そういう形でエイズを排除することよりも、個人の責任でそれを排除することのほうが大事なわけでしょう? お店がセーフ・セックスのためにコンドームを配るとか、そういう方向にいつまでたつても変わらないんじやないかと思うんだ。それで責任の持てない人のほうを「会員制」の名目で排除していくべき。店には好き嫌いがあつて当然だけど、今の日本のゲイ・サウナは、やり方が逆なんだよ」

大阪と新宿に「外国人OKのサウナがある」という情報を聞きつけた我々は、現状を探りに出掛けてみることにした。

パワフルHIVポジティブ パトリックの カミングアウト大作戦

4

カミングアウト4号



第10回国際エイズ会議

お金をかけて外国から
関係者を呼んだだけだ

アジアで初めてのエイズ会議が横浜市で8月7日から12日まで開かれた。エイズ時代の初めの10年を締めくくる会議となるといわれ、世界各国から1万人近くが参加した大規模な会議だった。しかしながら、事前の宣伝が少なかったため、エイズ関係者以外は直前までの存在を知らなかつたようだ。会場には関係者が報道の姿ばかり目立っていた。参加費8万円というのも一般人の足を遠のかせる要因でもあったと思われる。本文中でパトリックが怒っているのは右のポスターのことである。

フツウ人が参加できぬ エイズ会議は意味がない

連日38度を超す酷暑のなか、ブラフラになりながら国際エイズ会議に日参した！

パトリック。H-I-Vに感染して“5年の経験者が今回の会議に物申す！”

今回の会議で一番残念に思つたのは、これだけ大がかりな会議なのに、実際に集まつていた人は、医者や看護婦や製薬会社といった医療関係の人と、H-I-Vの感染者やボランティア……つまり、日頃からエイズの周りにいる人がほとんどで、ほんとうに会議に呼び寄せなきやならないフツウの日本人があまりに少なかつたことなんだ。

理由の一つは、事前のPRが少なすぎた

もう一つの理由は、会場に入るのがすごく難しかったこと。僕は事前の説明会にも出席して、感染者用のフリー・バスを貰おうとしたんだけど、いくら電話しても登録用紙を送ってくれなかつたんだ。揚げ句の果てに電話口で「パトちゃんは顔が有名だから大丈夫じゃない」なんて言われる始末。そういうことじやないんだつてば！

ショウがないから当日、直接受付に行つたら、「事前登録がないから感染者用のフリーパスはダメ」とつて言われて、1時間も待たされてさあ、感染者の僕に、ゲストバスを発行するつて言うの。で、受付で待つてたら、西アフリカから来たボランティア関係の人が怒りまくつてるわけ。何かと思つたら、登録料が8万円もするつて言うんだよ！ やつと飛行機のチケット買って会議に来たアフリカ人が、登録料が高くて会場に入れないの。これじゃ専門家以外はアホらしく帰っちゃうよ。

結局、後半から入場料はタダになるつていうテキトーな展開になつたんだけど、会議全体のスケジュールもテキトーでさあ、最初は12日までの予定が、11日で全部終わつちゃつたんだ。しかも、一番盛り上がりはアホらしく帰っちゃうよ。

12日に取材に行つたら、会場はもうスッカラカンなの。テレビを見て「週末にでも行ってみるか」と思った人はどうするわけ？ 僕は怒りまくつて、会場でいろんな係員やボランティアと話したんだけど、みんなが把握していないくて、「一体今回の会議にどういう人が来つて、どこで何をやつてることしか把握していなくて、会場でいろんな会議全員のスケジュールもテキトーでさあ、最初は12日までの予定が、11日で全部終わつてしまつたんだ。しかも、一番盛り上がりはアホらしく帰っちゃうよ。

エイズは黒船みたいに外国から入るもの？

カミングアウトとは
直訳すれば“公言すること”。一般的にカミングアウトするというと“ゲイであることを世間に公言する”という意味で使われる。最近ではHIVに感染していると公言するときにも使われている。パトリックはさらにこの単語の意味を拡大して使う。“自分の頭で考え、自分はこれがいいと公言する”。この連鎖はカミングアウトの多様性を追求していくものである。

パトちゃん日記

8月7日

今日から国際エイズ会議。毎日横浜に通うことになるので交通手段を考える。

電車は社内広告が読めないから（日本語はしゃべれるけど読めない）つまらないし、この日差しの中ハイクで行くと溶けちゃいそうだし、つてことで友人から車を借りた。だけど渋滞は嫌いなので地図を買って裏道作戦に。東京つて広いし、つぱい人が住んでるつて実感する。大きい道を作るとき、「えーいっ、ここに作つちゃえ」つて地図に目をつぶつて線を引いたんじゃないかと思つてしまふのだ。

8月10日
GOLDにインド象が来た日の写真が出来上がつた（下参照）。ダンスフロアに

人目ばかりなく裸になれる場所。ブールに通う僕。この恰好（下写真参照）でバイクに乗つて駒沢プールでひと泳ぎ。
ブールに行くとなぜか必ず新しい友達が

インド象がいたら踊つてると踏まれちゃうだらうと思つてたら、ちゃんと違うんだろう

エンスに囲まれていた。ちょっとつまんないし、かわいそう。インド象も踊りたかったと思う、絶対。誘われてインド象に乗せてもらつたんだけど、体毛が太く硬いのには驚いた。チクチクするのだ。

音に合わせて体をゆづくり横に揺らして、鼻をバオーッと上げていた。鼻の穴もすつごくかかつた。あたりまえか？

8月13日

人目ばかりなく裸になれる場所。ブールに通う僕。この恰好（下写真参照）で

バイクに乗つて駒沢プールでひと泳ぎ。

ブールに行くとなぜか必ず新しい友達が



小賀氏(左)はブラジルのファエーラという地区でエイズセミナーなどを開いていた。33歳

作つちゃうのだ。黙つて泳ぎ続けると眠くなっちゃうからね。すでにブール友達は30人くらいいる。毎日ブールに来るため、夏の間は仕事をしないフランス人のみたいな女の人もいる。お酒大好き夫婦はもうすでに僕のブールのパパとママな

こと。テレビで報道されるまでは、ほとんどの日本人は会議があるなんて知らなかつたんじゃないの？ エイズ予防財團は外国人向けにはポスターを作つて、国内にも少し貼つたんだけど、これがまた超ダサくてさあ……。だって、黒船の絵をデザインしてたんだもの。これじやあまるで、「エイズは黒船みたいに外国から入つてくる病気だ」というニュアンス丸出しぢやない。日本にだつてもう感染してる人はたくさんいるのに、ほんと、どうかしてるよ。

もう一つの理由は、会場に入るのがすごく難しかったこと。僕は事前の説明会にも出席して、感染者用のフリー・バスを貰おうとしたんだけど、いくら電話しても登録用紙を送ってくれなかつたんだ。揚げ句の果てに電話口で「パトちゃんは顔が有名だから大丈夫じゃない」なんて言われる始末。そういうことじやないんだつてば！ しようがないから当日、直接受付に行つたら、「事前登録がないから感染者用のフリーパスはダメ」とつて言われて、1時間も待たれてさあ、感染者の僕に、ゲストバスを発行するつて言うの。で、受付で待つてたら、西アフリカから来たボランティア関係の人が怒りまくつてるわけ。何かと思つたら、登録料が8万円もするつて言うんだよ！ やつと飛行機のチケット買って会議に来たアフリカ人が、登録料が高くて会場に入れないの。これじゃ専門家以外はアホらしく帰っちゃうよ。

結局、後半から入場料はタダになるつていうテキトーな展開になつたんだけど、会議全体のスケジュールもテキトーでさあ、最初は12日までの予定が、11日で全部終わつてしまつたんだ。しかも、一番盛り上がりはアホらしく帰っちゃうよ。

会場でボランティアをしていた小賀大輔さんは、「日本はブラジルなんかにくらべれば10年遅れてるけど、今回の会議が報道されて、やつとスタートラインに立てたんだから、そういう意味では意義があつた」つて評価してたけど、僕は、はつきり言つて最低の会議だったとあえて言いたい。お金かけて外国から医者とボランティアを呼べば終りつて感じじや、こんな会議何回やつたって意味がないもの。じやあ他にどんなことが考えられるか……来週はその辺について話そうと思う。



この水着カワイイでしょ（上）
インド象と踊る僕（右）



パワフルHIVポジティブ パトリックの カミングアウト大作戦

6

カミングアウト5号

連載5回目、パトリックはゲイ・サウナをカミングアウトさせるべく新宿を奔走した。が、結果は惨敗。全くの「門前払い」状態だったのだ。ゲイ・サウナは、基本的構造は一般のサウナと同じだが、入り口に「会員制」と明示することにより、その特殊性をこっそり主張している。パトリックは、入場拒否されるときの理由が「会員でないから」ではなく「外国人だから」というものなので怒っている。「ニューヨークにもゲイ・サウナはあるけど、アジア人だから入れないという店はない。当たり前でしょ」とはパトリックの言い分である。



ゲイ・サウナ
西側

白人のゲイはみんな
エイズと思われてる？

16人ほど住みついている。
パトリック(以下)「ち、ちょっと待った

……」

その異様な門構えの店の前に着くと、前

回同様、ビビってトイレに駆け込んでいく。

はつきり言つてパトリックの腹は『ゲリ系』。

その店は、噂通り確かに外国人可のゲイ。

サウナだつたが、なぜかパトリックはここ

でも入店を断られてしまった。

店員「うちは、滞在許可証のない外国人は

お断りです」

バ「キヨカショウ？ なんで？」

店員「とにかく、そういうシステムやから

……」

バ「でも僕は日本に住んでるんですよ」

店員「でもダメなの。ここは、日本人だけ

が集まるクラブなの」

バ「どうせさあ、白人のゲイはみんなエイ

ズだって思われてんのよ」

店員「そうねえ。まだ日本人のエイズ患

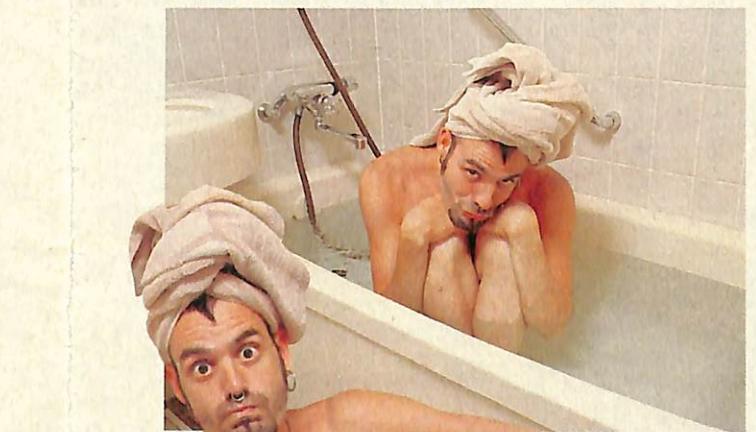
者がいなかつた頃は、白人やカラードのゲ

イはみんなエイズで、エイズにかかるたら

死んじやうんだ」ぐらいの知識しかなくて、

セーフ・セックスでエイズへの責任は個人が持て！

再び、ゲイ・サウナへの突撃取材を敢行したパトリック。ゲイでガイジンでHIVを持つという超法規的立場を利用して、ゲイ・サウナのエイズ認識を追求してみた。



日本人はダメという外国のサウナはない

カミングアウトとは
直訳すれば“公言すること”。一般的にカミングアウトするというと“ゲイであることを世間に公言する”という意味で使われる。最近ではHIVに感染していると公言するときにも使われている。パトリックはさらにこの単語の意味を拡大して使う。“自分の頑で考え、自分はこれがいいと公言する”。この連載はカミングアウトの多様性を追求していくものである。

パトちゃん日記

8月27日(土)

10時間断水中の博多に行つた。ロードを走るためだ、もちろん。クラブのトイレも水圧が下がっていて、断水中のトイレの使用方法」というイラスト入り注意書きが貼つた。笑っちゃいけないけど、ダンスフロアではあれだけハイテンションなのに、守るところは守るってわけ。でも笑えたよ。だって、みんなちゃんとそれを守つていて、ペーパーはゴミ箱に捨て、水も一回だけ流すんだもの。ホント疲れさせた。でも嬉しい。

8月30日(火)

このクソ暑い夏もそろそろ終わりであ



僕の見事なヤナギ腰、お見せしたい

つてほしいと希望してる僕は、夏をムリヤリ惜しむため、今日は一日ゆかたで過ごした。このゆかたの柄のトンボは、なんいろいろ話が出て議論になつたんです

「ほらほら。やっぱ毛深いじやん。それなのに外国人も入れるようにしたのは、なんの？」

支配人「僕がロサンゼルスのゲイ・サウナに行った時、日本人だからという理由で断られたことなんかなかつたから。だから、最初から外国人も入れる方向でスタートしました。でも最初は、店のシステムがまだちゃんとできていなかつたから断つてたんだげバ「外国人も入れろっていう署名があつたって聞いたけど」

支配人「日本人のお客さんが署名を持ってきたんです。それで、店に来るお客様に聞きました。それで、店に来るお客様に

おしつこするのも便利だし、すぐ脱げるし、腋も涼しいし、なかなかゆかたは素晴らしいものである。しかし、だ。早くも幻想的な風景じやない。ウツクシイよ。僕が踊り狂う。トンボが飛び交う。何ともいえない。ウツクシイよ。

9月6日(火)

今日はHIVの定期検診の日。僕は月に1回、こうやって病院に通っている。ドクターも看護婦さんも、とっても明るい人たちなんだけど、病院も注射器にして7本分も取り出した。冗談じゃないぜ。優しいはずの看護婦さんが一瞬

病院に行くと疲れるよ。肉体的にも精神的にも

マダムドラキュラに変身したかと錯覚。

おしつこするのも便利だし、すぐ脱げるし、腋も涼しいし、なかなかゆかたは素晴らしいものである。しかし、だ。早くも幻想的な風景じやない。ウツクシイよ。

僕が踊り狂う。トンボが飛び交う。何ともいえない。ウツクシイよ。

今日はHIVの定期検診の日。僕は月に1回、こうやって病院に通っている。ドクターも看護婦さんも、とっても明るい人たちなんだけど、病院も注射

器にして7本分も取り出した。冗談じゃないぜ。優しいはずの看護婦さんが一瞬

死ぬほどキライなのだ。裏切るな検診。

ドクターはそんな僕を満面の笑みでだま

してササーと注射器を挿入した。その

上、僕のHIV入り血液を、なんと注射

器にして7本分も取り出した。冗談じゃないぜ。優しいはずの看護婦さんが一瞬

死ぬほどキライなのだ。裏切るな検診。

ドクターはそんな僕を満面の笑みでだま

してササーと注射器を挿入した。その

上、僕のHIV入り血液を、なんと注射

器にして7本分も取り出した。冗談じゃないぜ。優しいはずの看護婦さんが一瞬

死ぬほどキライなのだ。裏切るな検診。

ドクターはそんな僕を満面の笑みでだま

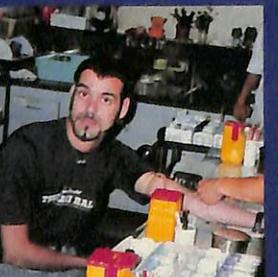
してササーと注射器を挿入した。その

上、僕のHIV入り血液を、なんと注射

器にして7本分も取り出した。冗談じゃないぜ。優しいはずの看護婦さんが一瞬

パトリックロード情報

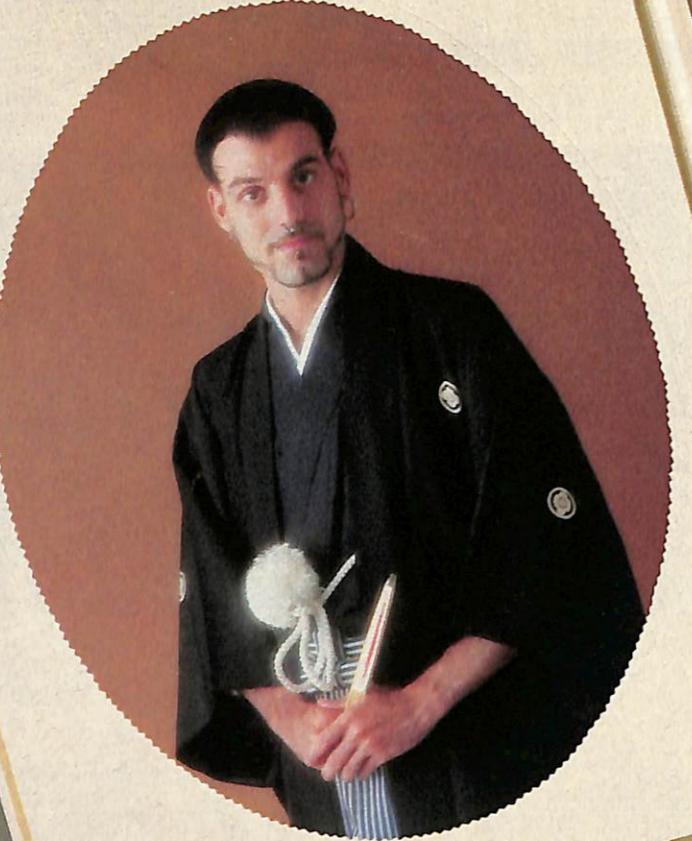
9月14(水) MANIAC LOVE DISCO BABY
03-3406-1166 9月17(土)
京都 MUSHROOMで
DISCO BABY 0075
-561-9827



構成・文/Q太郎 撮影/高橋清人

絶対条件は「自分にコンプレックスのない人」とのこと

カミングアウトとは
直訳すれば“公言する”ことだが、パトリックはさらにこの単語の意味を拡大し「自分の生き方を自分で選び、これがいいと伝えること」としている。



ちょっとキメすぎ。おまけにこの衣装、なんと自前！ なんてガイジンがこんなもの持っているのか、理解に苦しむ編集部であった

誌面を借りて、僕のお見合い相手を募集することにしました。
僕が好きなのは、自分にコンプレックスがない人。「自分は完璧じゃないんだけど、これが自然な自分なんだから、これがいい」という人。だから、無理におかまっぽくして人のや、無理にトレーニングしてマッチョをしている人は好きじゃない。

今回の見合い写真は、自分でも惚れ惚れしちゃうんだけど……。

パトリックと「毛深い」話をしたい人は、どんどん顔写真付きの自己紹介

夏休みも終わりに近づき、僕は連日クラブ活動に多忙を極めていた。

張り切りすぎて腰を痛めてしまい、とうとうサポーターを巻かなくてはならない状態に陥った。おとなしくなってレントゲンを撮りに行ったら、なんとヘソピアスが奇麗に写つていてうつとり見とれてしまった。結果は、単なる疲労。とのことで、やれやれ、心配して損しちゃった。

8月31日

PA／編集部「パトリックのカミングアウト大作戦／パトちゃん」とお見合いがしたい係まで。お見合いの模様は追ってこの誌面で紹介するので乞う御期待!!

パトちゃん日記

8月31日

夏休みも終わりに近づき、僕は連日クラブ活動に多忙を極めていた。張り切りすぎて腰を痛めてしまい、とうとうサポーターを巻かなくてはならない状態に陥った。おとなしくなってレントゲンを撮りに行ったら、なんとヘソピアスが奇麗に写つていてうつとり見とれてしまった。結果は、単なる疲労。とのことで、やれやれ、心配して損しちゃった。

マドンナもそうなんだけど、彼女は男に入れられるんだけど、ファックしてるのは彼女のほうなわけ。僕も同じで、おもしろいけどセックスをコントロールする人の。セックスでは僕はアクティブ・パッシブなのね。ゲイのセックスでは、タチ役の人がアグレッシブで、入れられる人がパッシブなんだけど、アクティブ・パッシブっていうのは、入れられているんだ。

友達でしかいられない人もいるよ。そういうのが一番つらいけど。一緒に並んで映画観たりしながら、友達でしかいれないんだから。僕は、好きだつたらいつもベタベタして、ちゃんとセックスしたいもの。

これって、日本の男女関係を見てても同じことだと思うよ。世の中には「自分はバイセクシャルだ」と言つる人もいるけど、それってただの言い訳じゃん？ほんとは男が好きなんだけど、自分がカミングアウトできないから「自分はバイだ」と言つて女性と付き合つてる人が多いと思うんだ。

僕は好きな人がバイだったらすごく困るよ。だって、自分が好きな人を誰かとシェアなんかしたくないもの。そういうふうに自分を隠してつていうのは気持ち悪いし。だから、「どちらかに決めなさい」と絶対言つちゃうの。

僕にとってベストな付き合い方は、まず友達から始めて、HIVのこととかも全部話して、ちゃんと理解し合える人だったら2人なりの愛の形をつくっていく。それでうまくいったら、次は一緒に生き

て行きましょうって話になるわけ。当然、すつごく好きな相手なんだけど、友達でしかいられない人もいるよ。そういうのが一番つらいけど。一緒に並んで映画観たりしながら、友達でしかいれないもの。

連載を開始してはや1か月半、取材でどこかに出かけるたびにキヨロキヨロと落ち着かない様子。編集部が問いただしたところ、「カワイイ男を探している」とだと言う。「ちゃんとした彼が2年もいないのだと言う。『もう我慢できない』とまでのたまう始末。パトリックの言う“カワイイ男”的基準とはどんなものなのか？ ゲイで、HIVに感染している彼は、一体どんな恋愛観を持っているのか？ 今回はそれをカミングアウトさせ、あわよくば恋人まで見つけてしまい、今後の仕事に落ち着きを持たせようという企画である。

今週のカミングアウト

パトリック・ポンマート(再登場)

連載を開始してはや1か月半、取材でどこかに出かけるたびにキヨロキヨロと落ち着かない様子。編集部が問いただしたところ、「カワイイ男を探している」とだと言う。「ちゃんとした彼が2年もいないのだと言う。『もう我慢できない』とまでのたまう始末。パトリックの言う“カワイイ男”的基準とはどんなものなのか？ ゲイで、HIVに感染している彼は、一体どんな恋愛観を持っているのか？ 今回はそれをカミングアウトさせ、あわよくば恋人まで見つけてしまい、今後の仕事に落ち着きを持たせようという企画である。

OUT! COMING * JN!

パトリックのカミングアウト 大作戦

パワフル HIV ポジティブ

公私混同を承知の上で、お見合い相手を大募集!!

HIVを持つて5年、恋愛しない歴2年のロジ、パトリックが自らの恋愛観をカミングアウト。果たして会場の恋人は見つかるだろうか？

お客様のノリがいいと、僕もつられる



パトリックDJ情報

●9/22(木)RAINBOW PARTY AT GOLD ●9/21に『Patrick B. REMIX PROJECT ANN LEWIS CLUB TRIP』がピクターよりリリース

構成・文/Q太郎 撮影/高橋清人

友達のためなら死ねる、というのがタイのメンタリティ



バンコク市街の寺院にて。建物の派手な色使いがいかにもタイらしい。しかし、それにもましてパトリックのシューズ、派手だなあ……

パトちゃん日記

9月3日



これがトゥクトゥク。運賃は交渉次第なのだ

パトリックDJ情報●10/3(月)ザ♥美容師♥ナイト AT YELLOW●10/6(木)
DISCO BABY ANN LEWIS REMIX RECORD PARTY AT YELLOW

次回のタイ特集第2弾は『性転換手術医』直撃インタビュー / お楽しみに!!

カミングアウトとは
直訳すれば“公言する”ことだが、
パトリックはさらにこの単語の意味を拡大し「自分の生き方を自分で選ぶ、これがいいと伝えること」としている。

OUT! COMING*

パワフル HIVポジティブ

パトリックの カミングアウト 大作戦

8

今週のカミングアウト



ナディ・ティーラッチャナトン

1966年タイ、バンコク生まれ、38歳。大学の医療技術科を卒業して就職するが、ある日突然ゲイであることをカミングアウトしたくなり、会社を辞めてアメリカに渡る。ボストンでダンスを習い始め、ある男性とベッドを共にしてからエイズについて真剣に考えるようになる。タイに戻って環境問題や貧困問題を取り上げるボランティア団体FACTを作る。オレゴンから来た友人をエイズで亡くしたのをきっかけとして、FACTはエイズをテーマとした劇を上演するようになった。タイのゲイ文化のリーダー的存在でもある。

ゲイ文化最先端国タイの やたら毛深い最新事情!!

パトリックは遅い夏休みでタイへ行くことに。それならついでにタイをカミングアウトさせてしまおう、ということで週連続のタイ特集

タイの美男美女は、日本の富士山と同じようなもの

パトリック「タイにはゲイがものすごく多いと思うんだけど、まずはタイのゲイライフについて詳しく教えてくれないかなあ」

ナディ「タイではゲイという存在 자체への偏見は強くないから、ゲイでいることは全然つらくない。ゲイでもオカマでも何でもありつて感じ。だから、この国ではゲイの団体を組織する必要は全くない。その半面、表立つてカミングアウトする

ことは、ゲイの世界では決して居心地のいいことではないんだ。家族が普通の結婚を強要したり、旦那がゲイだとわかつても妻が我慢しているような“仮面ゲイ”も多い。それでいて、街中で手をつないでいるゲイもいっぱいいる。今のタイでは、まだ自分自身を開放させている段階なんだと思う」

バ「つまり、カミングアウトの前に自分をカムアウトさせる段階だね」

ナ「ダンスの屏が少しづつ開いたところがつて感じ。でも開いただけで、誰もまだそこから出てきてはいない。屏を開けた

だけで気持ちいいんだ」

バ「そういう状況のタイでエイズ教育をしていく場合に、具体的にはどういうやり方をしているの?」

ナ「僕らは人との会話や劇を通して、“ノイ”という言い方を広めているんだ。タイで重んじられているのは人と協調すること、極端に言えば、人のために死ねること、ということなんだ。例えば、友達が売春婦を買ったら自分も買う。友達がドラッグをやつたら自分も同じ注射器でやる……そういうのがタイのメンタリティなんだよ。でもそれっていうのは偽りの友情ishよ?」

バ「ラッド・ラザーミみたいになやつ?」

ナ「そうそう。だから、ちゃんと“ノイ”と言ふことも友情なんだってことを知つてほしいんだ」

バ「“ノイ”を広めるために、君自身は有名になりたいとは思わないの?」

ナ「僕はそんなことは考えていない。僕は独立心が強いから、有名になるために人と組まなきゃならないのはイヤなんだ」

バ「でもさあ、有名で何でも言える立場になつて社会のシステムを変えたいとは思わない?」

ナ「……自分は自分なりにやつているからね。成功にはまだほど遠いけど」

バ「じゃあ、君が“ノイ”を広めるとき、一番気をつけていることは何なの?」

ナ「一番大切なのはフレキシビリティだと思つ。この国ではみんなが違うやり方で反応してくるから、一つのメッセージを伝えることがとても難しいんだ。例えば、僕らはここ20日間で50もの学校を回つてエイズ教育をした。ゲイバーで“コンドームを使え”と言えば真剣なメッセージだつて思つた」

ナ「これはあくまで僕の個人的な意見だけ、例えば日本に富士山や優れた工業製品があるように、タイには美しい男子や女子の子がいる。それを楽しみに来てもらうのは、タイの文化としてあってもいいことだつて思つてるよ」

バ「……なるほどねえ……それは毛深い話だなあ」

ナ「これは本人の問題だからね」

バ「そういう考え方はアメリカやヨーロッパから入ってきたものだと思うけど、タイにはたくさんの外国人が男の子や女の子がいる。それを楽しみに来てもらうのは、タイの文化としてあってもいいことだつて思つてるよ」

バ「……なるほどねえ……それは毛深い話だなあ」

ナ

タイでは『コンドーム100%使用政策』が導入されている



想像していたのと全く違い、彼女たちはとても明るく、元気で、ポジティブだった。もうパトリックは感激しちゃなして、とても勇気づけられたようだ

パトちゃん日記

9月14日

「さやー／ほらほら見てー／」つて

奇声（もちろんタイ語）が、僕の耳

に飛び込んできた。小学生が僕の周

りで跳びはねているのだ。「すげー

ノ触っていい?」つてピアスをつま

んで引っ張る。どこの国でも子供つ

て素直でかわいい。でもタイって大

人でもこんな感じなのだ。あつけら

かんとしている。日本だとあんまり

こんなリアクションつてない。「痛

くないの?」つて遠慮がちに言う人

が多い。同じアジアといえどもいろ

いろと違うところがあるんだな。

バンコクの印象をひと言でいうと、無

理やりの街。道路の整備よりも先に

みんなが車持っちゃったから街中す

ごい渋滞してるし、電話線が整備

される前に電話が必要になつたから、

みんな携帯電話持つたりする。夜



子猫のようになつっこいタイの子供たち

パトリックD J情報●10/12(水)DISCO BABY Patrick Birthday Party At Maniac Love

バ「この仕事は2人とも自分で選んだの？」

2人「そうです」

バ「何のため？ ただお金のため？ それとも、他に何かしたいことがある？」

ボ「私はちゃんと学校を卒業したら、就職して、ちゃんと結婚したいから」

オ「私は小さな店を出せるぐらいのお金を貯めたらやめようと思つてます」

バ「僕は最初、タイで売春して

バ「この仕事は2人とも自分で選んだの？」

2人「そうです」

バ「何のため？ ただお金のため？ それとも、他に何かしたいことがある？」

ボ「私はちゃんと学校を卒業したら、就職して、ちゃんと結婚したいから」

オ「私は小さな店を出せるぐらいのお金を貯めたらやめようと思つてます」

バ「でも、それは、システムが

毎月3回病院の検査があり、その費用は店が払っている

パトリック「最初に、この店のシステムについて聞きたいんだけど」

ボン「普段は飲み物を頼んでお客様の話し相手をする。その後、外に出ることもある」

バ「値段はどのくらい？」

オイ「ショートで800バーツ（約3200円）泊まりで1200バーツ。私たちは取り分は6割ぐらいです」

バ「オイちゃんは結婚してるんだけど、だんなさんはこの仕事をことを知ってるの？」

オ「知ってるけど、彼は何も言いません。ここに働き始めてからはセックスしてないけどね。もし病気をうつしたりしたら大変だから」

バ「仕事を始める前から、エイズのことは知つたのかなあ？」

オ「知つてはいたけど……」

バ「僕はHIVポジティブなんだけど、目の前にいて怖いですか？」

オ「エー……別に。何もしなかつたらうつらないんだから怖くはない」

バ「じゃあ、お客様とセックスする時にも、ちゃんとコンドーム使つてるの？」

ボ「もちろんです。それに、この店の場合、嫌な客とはエッチしなくてもいいことになっているの」

この店では毎月3回病院で性病を含めた検査をして、その証明がないと働けない。病院の費用は店が払っている。

バ「最初思つていたよりも、すっごくちゃんとしてる店だったからびっくりしたんだけど、そういうことを知つてこの店を選んだの？」

オ「……ん、そうじゃないわ。お店が綺麗でお客さんも多いからここににただけなんだけど……」

バ「でも、それは、システムが

ちゃんとしてるからお客様も多いんじゃないかなあ。例えば、バツボンとかの店で働くことは思わなかつた？」

ボ「バツボンのほうがお金はいいようにも思うけど、私は行つたこともないし、この辺だったら、何かトラブルがあつてもタイ人同士だから安心なんです」

バ「僕はセックスするのが大好きで、気持ちは絶対に嫌なんだけど、ボンちゃんとオイちゃんは、他にこのぐらいお金を稼げる仕事はないの？」

オ「あるけど、私は小学校2年までしか出ていないから、そんな仕事は探せるはずがない」

ボ「私だって、今のレベルだと月に3000バーツ稼ぐのがやつと、学費は払えない」

史上最高の職業「売春婦」の夢と現実、そしてHIVの上回るベースでHIV感染が急増するタイの最前線現場取材！

今週のカミングアウト



ポンさん/18歳(右)、オイさん/21歳(左)

人口6000万人のうちHIVに感染している人が40万とも50万ともいわれているタイでは、現在「コンドーム100%使用政策」が導入されている。その主な対象が性産業の最底辺「闇屋」と呼ばれる売春宿。そこでタイ特集最終回は地元タイ人向けの闇屋街ステーション通りで働く2人にエイズに関する意識などをインタビューした。ポンさんは工業専門学校で機械関係の勉強をしていて、学費を稼ぐために已から働いている。オイさんは3人の子供を養うため5か月前から始めた。仕事以外の時間は子供の世話を追われる。

撮影/高橋清人

